



大樹のこころ

NHK の取材

NHK 大河ドラマ「どうする家康」が軌道に乗ってきました。第2回は「大樹寺回」で、大樹寺で家康が「厭離穢土欣求浄土」の言葉と出会い、決意を新たにする場面が放映されました。本学区が「全国区」になったという嬉しさを感じました。保護者の皆様も同様だったのではないのでしょうか。

NHK は大河を盛り上げようと家康関係の特番を次々と放送しています。2月9日(木)にもBS放送で「家康クイズ! ゆかりの地を訪ねて」(仮)という特番を企画しています。その番組は大樹寺をメインにして構成するとのことで、本校の家康学習についても多く取り上げてくれるようです。本日その取材が終日にわたって行われました。

今日は折しも毎月23日に行われる「自立の日」。子供たちがこれまでの自分の生活を振り返り、新たな目標を定め、家康公の遺訓を唱和していきます。取材スタッフは、この様子を丹念に撮影していきます。1年生が遺訓を誦んじる姿を見て、番組のディレクターが「信じられない。すごい」と感激してくださいました。



6年生の教室では、先日実施された「ジュニア家康公検定」の結果発表が行われました。検定には合格・不合格はなく、点数のみが伝えられます。この検定、なかなか難易度が高かったようですが、さすがは本校の子供たち。上々の結果だったようです。担任の先生が検定結果を手渡すと、子供たちから悲喜こもごもの反応が返ってきます。中には「ほぼ満点」という子もいて、本校が積み重ねてきた家康学習の成果が発揮されたと誇らしく感じました。



この後、取材陣は3年生の教室へ移動しました。3年生は家康学習の一環として家康や大樹寺学区などを紹介するパンフレットづくりを行っていました。出来上がったパンフレットを大樹寺に来る観光客に配布することを目指しています。校外学習などで学んだことをチームでまとめ



ていきました。2年生の教室では「秘伝の書」づくりの様子を撮影していきました。秘伝の書とは、本校にある家康関連のものがどこにあるのかを示したマップのことです。これを2年生が1年生に伝えていきます。本校では、このように系統的に家康学習を行っています。授業場面以外にも、校内にある家康にゆかりのものを6年生の子が案内する様子などの撮影が行われました。これらがどのように編集され放送されるのか楽しみでワクワクしています。



一つ心配なことが、それは番組がBSNHKの4K・8Kで放送されるとのことで、4K放送に対応したテレビでないと視聴できないということです。局の方は「地上波もしくは通常のBSでの放送もありうる」と言っていますが、まだ放映日が未定。「仏様、何とか放送を実現してください」と大樹寺に向かって手を合わせ、祈っています。